

1 貨物線路使用料

(1) 制度骨格

- ① JR貨物が使用する軌道及び軌道以外の施設/設備に関する修繕費、人件費、業務費等を、JR貨物とIGRの運行実績に基づく、走行車両比率等により案分し、IGRに支払うもの。
- ② JR貨物を支援するため、国が「貨物調整金制度」により線路使用料の一部をJR貨物に対し助成。

(2) 対象経費

貨物列車の走行に係る経費

- ① 軌道/施設/設備の維持修繕経費
- ② 保守/運行等人件費
- ③ 運行指令等業務費
- ④ 設備更新費 など

(3) 算定等

JR貨物列車とIGR旅客列車の運行実績により、走行車両数、車両重量比などを算出し、経費を按分、積算

※ JR貨物負担 約8～9割

2 貨物線路使用料の推移

【単位：千円】

	H14	H15	H16	H17	H18	H19	H20	H21
営業収入	1,028,799	3,694,847	3,633,922	3,666,636	3,674,630	3,595,878	3,479,574	3,303,034
線路使用料収入	170,816	1,075,917	1,424,908	1,463,915	1,419,874	1,366,058	1,434,147	1,339,382

	H22	H23	H24	H25	H26	H27	H28
営業収入	3,274,696	3,861,728	4,032,747	4,162,554	4,523,282	4,289,602	4,463,932
線路使用料収入	1,431,230	2,129,347	2,214,099	2,370,285	2,739,515	2,630,701	2,731,033

【線路使用料確定方法】

$$A \text{ 線路使用料 概算請求額} + B \text{ 当該年度内精算額} + C \text{ 前年度確定精算額} = D \text{ 当該年度線路使用料収入(決算額)}$$

参考—貨物線路使用料請求/支払等フロー

